

梅だより

令和5年10月号発行 第80号

verde

紅葉の便りが聞かれる頃となりました。
秋の夜長とはいえ、睡眠は充分にとって健やかにお過ごしください。



デイサービスにて入居者様が制作した【お月見】の壁面飾りです。

ベルジとはポルトガル語で「緑の」という意味です。
木々の枝葉や、若草のみずみずしい様子を表しています。

〒370-3104 群馬県高崎市箕郷町上芝 845-3

グランドホーム箕輪

☎ 027-371-3717 📠 027-371-3730

E-mail g-minowa@e-verde.co.jp URL <http://www.e-verde.co.jp>

発行責任者：総支配人 守田 昌史

支配人 金子 律子

グラントホーム箕輪 9月の出来事

敬老の日

9月の第三月曜日は敬老の日です。
「多年にわたり社会につくしてきた
高齢者の方を敬愛し長寿を祝う日」
として制定された祝日です。

当施設では1日早い前日に敬老会を開催いたしました。
一人ひとりに賞状をお渡しし、可愛らしい動物ケーキで
お祝いいたしました。

敬老の日当日のお昼には、お赤飯や天ぷらなどのお祝
いメニューをお出ししました。



さんぽ

夏の暑さも一変し、涼しくて穏やかな陽気
が続いていますね。

最近では、施設の敷地内や近くまでお散歩
に出かけています。

外の空気に触れ、田畑を眺めたりと皆様リ
フレッシュされています。

榛名荘病院 往診

いつもお世話になっている榛名荘病院の先生による往
診風景です。

入居者様や職員にもとても優しく声をかけて下さる、
気さくで話しやすい先生です。毎週、先生の訪問を心
待ちにしている入居者様がたくさ
んいらっしゃいます。

今後とも、どうぞよろしくお願
いいたします



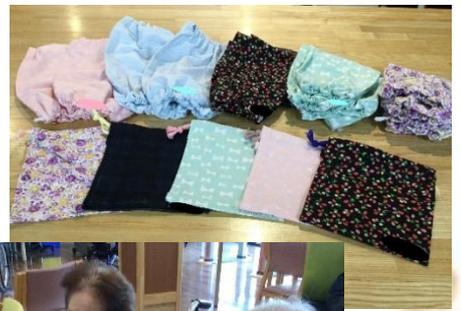
デイサービス

先月のお便りでお知らせした巾着とアームウォーマーが完成いたしました。

手先が器用な方や、裁縫がお好きな方もいらして、隣の方に教えてくださった方もいました。

お好きな生地を選んでいただいて、職員と一緒に楽しそうに作り、完成した作品に満足されていました。

また、今月も新しいレクを取り入れて、二人で競う「餅つきペタン」というゲームで盛り上がりました。



健康応援コラム

～ 毎日くだもの200g運動 ～

『毎日くだもの200g運動』とは、1人1日200g以上のくだもの摂取を推進する運動のことです。果実は、ビタミン・ミネラル等の重要な供給源であり、バランスの良い食事には欠かせません。しかし、果物はまだまだ嗜好品としての意識が強く、摂取量の不足が続いています。果物を毎日の食生活に欠かせない品目として定着させるため、この運動がはじまりました。

くだもの200gってどのくらい？

- | | | |
|----------------|-----------------|---------------|
| *温州みかん・・・2個分 | *りんご・・・・・・・・1個分 | *柿・・・・・・・・2個分 |
| *梨・・・・・・・・1個分 | *バナナ・・・・・・・・2本分 | *いちご・・・・12粒分 |
| *葡萄・・・・・・・・1房分 | *キウイフルーツ・・・2個分 | |
| *桃・・・・・・・・2個分 | *グレープフルーツ・・・1個分 | |



職員紹介

【支配人コメント】

仕事ぶりから真面目な人柄がうかがえます。頼りにして頂きます。頑張ってくださいね。



事務：関上 奈都代（せきがみ なつよ）

趣味：ディズニーへ行ってショーやパレードを見ること。

一言：ベルジ箕輪より異動してまいりました。ご入居者様やご家族様との直接的なコミュニケーションを大切にしながら笑顔で頑張ります。

お知らせ

満足度調査結果について

満足度調査にご回答頂きありがとうございます。

たくさんのご回答、ご意見を頂きました。「満足」とされたご意見に対しては職員一同励みにさせていただきますが、今回も面会制限で直接お会いすることも無く、具体的なお指摘をしにくい状況であったかとも思います。ご面会に制限がある中で入居者、ご家族の皆様にご満足いただけるよう努めてまいります。

調査結果につきましては別紙にて送付させていただきますのでご参照ください。

編集後記

徐々に実家の私の部屋に行くと物の多さに驚愕。その日は一日予定がなかったので片づけを決意。CD・本・カセットテープ・ビデオテープなど様々。ここは〇〇屋敷なのか。とはいえ一つ一つに私にとっては大事な思い出があり、余韻に浸りながら片づけをしていると、今から30年以上も前にTV放送していたドラマを録画していたビデオテープを発見。休憩も兼ね再生してみると見入ってしまい気が付くと4話まで終了してしまいました。私は頻繁に何らかの拍子で脱線してしまう事があります。

ドラマを見た感想として、当時は気付く事や理解できなかった言葉や表現されていた事を、年を重ね人生を経験した事でより共感し、作者が視聴者に伝えたかった思いなどに気付いたことや、以前はなかった視点で鑑賞する事で新たな発見に繋がりました。

皆様も、昔好きだった物に再度触れてみると、新たな楽しみ方ができるかもしれません。

因みに、ドラマのタイトルは「ひとつ屋根の下」です。

